

天敵資材と物理的防除資材によるオオバのアザミウマ対策

農業研究部・病害虫対策チーム

1. 研究の背景

オオバ栽培では夏場の需要期にアザミウマ類による被害が多発し、廃棄による減収などが深刻な問題となっている。そこで、スワルスキーカブリダニ製剤や赤色LEDを活用した化学農薬のみに頼らない病害虫総合防除体系を構築し、オオバの安定生産と産地拡大を支援する。

2. 研究成果の内容・普及のポイント

- 令和5年4月から、オオバ栽培圃場においてスワルバンカーロング(スワルスキーカブリダニ製剤)を導入(50,000頭/10a)した結果、設置から約40日程度アザミウマ類の頭数を抑えることができた。
- また令和5年は5月1日の定植直後から赤色LEDを設置(1機/8a)した結果、初期の薬剤防除以降、発生を低く抑えることができた。



図1 スワルバンカーロング設置の様子

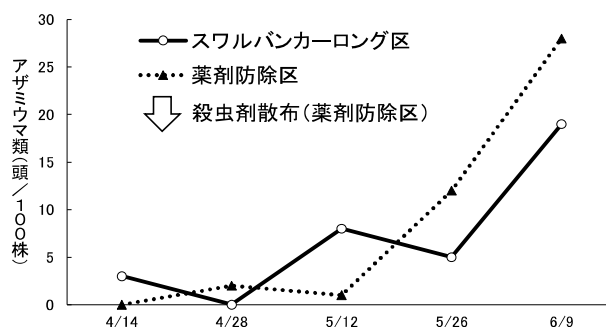


図2 スワルバンカーロング設置によるアザミウマ類の発生推移(大分市A圃場)



図3 赤色LED設置の様子

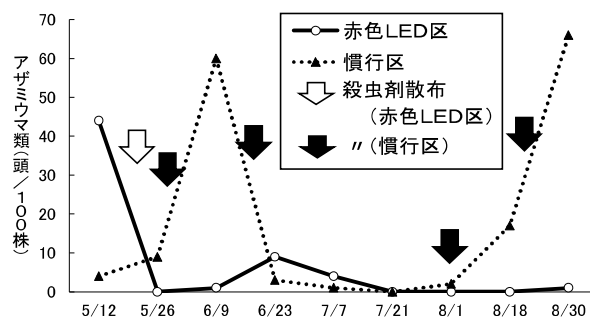


図4 赤色LED照射によるアザミウマ類の発生推移(大分市B圃場)

3. 期待される効果

- アザミウマ類の被害軽減により生産の安定化に寄与できる。
- 圃場での化学農薬散布回数を低減できる。

4. 担当機関連絡先

大分県農林水産研究指導センター農業研究部 病害虫対策チーム

TEL:0974-28-2078

住所:豊後大野市三重町赤嶺2328-8